

発信日：2008 年 12 月 1 日

『Russell/Nomura 日本株インデックス』年次銘柄入替

Russell/Nomura Total Market インデックスに初めて 14 銘柄が組入れ

ラッセル・インベストメントと野村證券は、この度、Russell/Nomura 日本株インデックス・シリーズの定期銘柄入替を行いました。今回の入替で、全上場銘柄の時価総額（浮動株調整済み）の 98%をカバーする Russell/Nomura Total Market インデックスに、14 銘柄が初めて組入れられました。構成銘柄の詳細は、野村證券金融工学研究センターのホームページ

(<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>) をご覧ください。

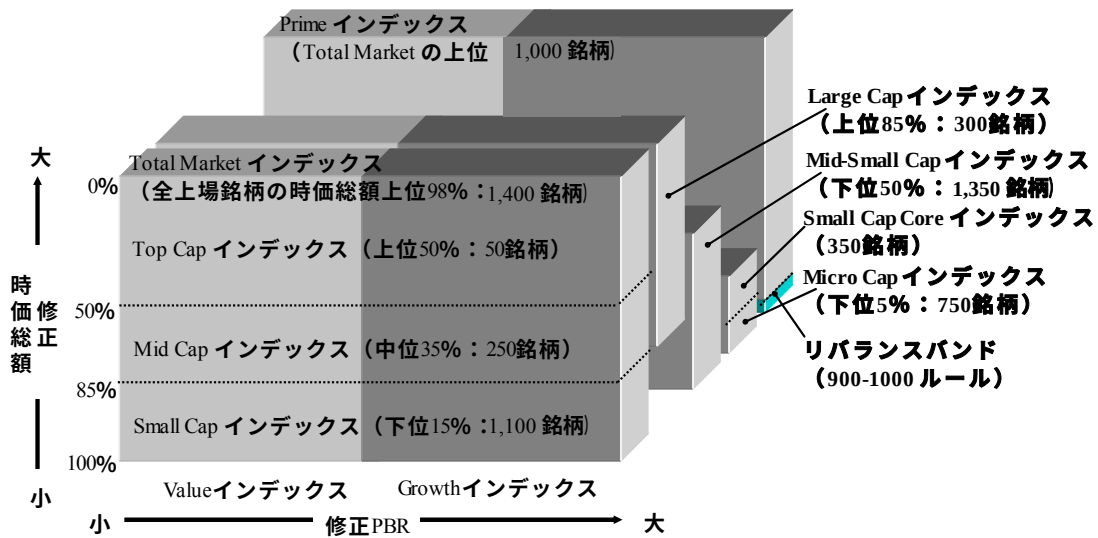
Value インデックスと Growth インデックスが大幅な入替に

今回の入替により、Russell/Nomura Total Market インデックスは全体で 75 銘柄減って 1,400 銘柄となりました。156 銘柄が除外、81 銘柄が組入れられる中で、14 銘柄が初めての組入れとなりました。一方、同インデックスの全体の時価総額は約 205 兆円から約 204 兆円に減少しました（2008 年 10 月 15 日時点。時価総額は浮動株調整済み）。

サイズ別のサブインデックスである Russell/Nomura Large Cap Index の構成銘柄は 1 銘柄多い 300 銘柄となる一方で、Russell/Nomura Small Cap Index の構成銘柄は 76 銘柄少ない 1,100 銘柄となりました。Russell/Nomura Large Cap Index と Russell/Nomura Small Cap Index はそれぞれ、Russell/Nomura 日本株インデックスに構成される銘柄群の時価総額の上位 85%、下位 15%と定義されており、Russell/Nomura Small Cap Index の構成銘柄数が減少したことは市場全体の時価総額が下落する中で時価総額下位銘柄の下落幅が大きかったことを反映していると言えます（図表 1）。

Russell/Nomura Total Value インデックスの構成銘柄は 212 銘柄が除外、176 銘柄が組入れられ、Russell/Nomura Total Growth インデックスの構成銘柄は 270 銘柄が除外、136 銘柄が組入れられました。Value インデックスと Growth インデックスの時価総額回転率はそれぞれ 30.9%、33.3%と、1981 年 1 月以降では過去最大規模の回転率となりました（図表 2）。これを業種別に見ると、「電気・ガス業」、「食料品」、「小売業」など、昨今の軟調な相場展開の中で安定的な株価推移を見せた、いわゆるディフェンシブセクターの銘柄群の Growth インデックスにおける構成比率が増加する動きが目立っています（図表 3）。

図表1 Russell/Nomura 日本株インデックスの体系



(注) 2008 年 12 月定期入替後。

図表2 2008 年 12 月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価総額構成比率			回転率 片側
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1,475	1,400	-75	156	81	100.0%	100.0%	-	1.5%
Value	1,147	1,111	-36	212	176	54.9%	48.3%	-6.6%	30.9%
Growth	653	519	-134	270	136	45.1%	51.7%	6.6%	33.3%
Large	299	300	1	35	36	84.2%	85.1%	1.0%	3.6%
Value	203	197	-6	54	48	43.8%	37.5%	-6.3%	35.4%
Growth	193	182	-11	65	54	40.4%	47.7%	7.3%	34.9%
Small	1,176	1,100	-76	191	115	15.8%	14.9%	-1.0%	18.3%
Value	944	914	-30	202	172	11.1%	10.8%	-0.3%	28.7%
Growth	460	337	-123	228	105	4.7%	4.0%	-0.7%	48.6%
Prime	983	1,000	17	58	75	97.7%	98.2%	0.5%	1.6%
Value	736	773	37	107	144	53.2%	46.9%	-6.3%	31.3%
Growth	487	412	-75	192	117	44.5%	51.3%	6.7%	33.5%

(注) 時価総額構成比率の計算は 2008 年 10 月 15 日の株価による。

回転率は「 Σ | 入替前時価総額比率 - 入替後時価総額比率 | / 2」より算出。

図表3 Russell/Nomura スタイル指数の業種別時価総額ウェイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.1%	—	—	-0.3%	0.9%
鉱業	0.0%	-0.3%	—	-0.3%	0.1%	0.0%
建設業	0.3%	0.0%	0.1%	-0.1%	0.3%	1.9%
食料品	-1.8%	1.9%	-0.7%	1.5%	-6.3%	7.3%
繊維製品	0.4%	-0.4%	0.3%	-0.5%	0.7%	0.6%
パルプ・紙	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%
化学	2.3%	-2.6%	2.5%	-3.2%	1.2%	4.4%
医薬品	-0.5%	-0.8%	-0.3%	-0.5%	-1.2%	-4.0%
石油・石炭製品	0.2%	-0.1%	0.2%	-0.1%	0.4%	0.0%
ゴム製品	-0.1%	0.2%	-0.1%	0.2%	0.1%	-0.1%
ガラス・土石製品	0.8%	-0.8%	1.1%	-0.9%	0.0%	0.8%
鉄鋼	1.9%	-2.6%	2.0%	-2.8%	1.5%	-1.3%
非鉄金属	0.9%	-0.8%	0.7%	-0.8%	1.6%	-0.3%
金属製品	0.2%	-0.1%	0.3%	-0.2%	-0.1%	0.5%
機械	1.7%	-1.8%	1.1%	-1.5%	3.3%	-4.8%
電気機器	3.3%	-3.5%	3.5%	-3.7%	3.8%	-2.5%
輸送用機器	5.5%	-5.0%	7.1%	-5.4%	0.7%	-2.1%
精密機器	0.1%	-0.4%	0.0%	-0.5%	0.3%	-0.7%
その他製品	0.1%	-0.5%	0.3%	-0.7%	-0.4%	1.5%
電気・ガス業	-4.3%	5.2%	-5.3%	5.5%	-0.1%	0.5%
陸運業	-1.0%	0.4%	-0.9%	0.3%	-1.5%	0.1%
海運業	0.9%	-1.0%	1.1%	-1.0%	0.3%	-0.6%
空運業	-0.3%	0.3%	-0.4%	0.3%	—	—
倉庫・運輸関連業	0.1%	0.0%	0.2%	—	-0.4%	0.0%
情報・通信業	-0.9%	0.0%	-1.2%	1.2%	0.3%	-3.9%
卸売業	4.3%	-4.2%	5.4%	-4.6%	0.0%	-0.3%
小売業	-1.6%	1.6%	-1.5%	2.0%	-2.1%	0.9%
銀行業	-9.2%	11.3%	-11.0%	12.1%	-2.3%	0.6%
証券、商品先物取引業	-1.8%	1.9%	-2.3%	2.0%	-0.3%	1.2%
保険業	-2.7%	3.2%	-3.3%	3.4%	0.0%	—
その他金融業	0.9%	-0.8%	1.3%	-0.8%	-1.0%	0.1%
不動産業	0.4%	-1.1%	0.1%	-1.1%	1.3%	-1.7%
サービス業	-0.2%	0.0%	-0.3%	0.3%	0.2%	0.6%

(注) 2008 年 10 月 15 日の株価による。水色帯は Growth 指数のウェイトが 1%以上増加した業種、緑色帯は Value 指数のウェイトが 1%以上増加した業種を表す。

Russell/Nomura Prime インデックスに初めて 32 銘柄が組入れ

Russell/Nomura Prime インデックスは機関投資家のパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura 日本株インデックスの時価総額上位 1,000 銘柄で構成されるサブインデックスです。今回の定期入替で初めて上位 1,000 銘柄に採用された銘柄は 32 銘柄となりますが、同インデックスの時価総額は約 201 兆円から約 200 兆円に減少しています (2008 年 10 月 15 日時点。時価総額は浮動株調整済み)。同インデックスの時価総額回転率は 1.6%と、例年に比べて低い水準となりました。

新たに採用された 32 銘柄では、電気機器が 5 銘柄と最も多く、サービス業が 4 銘柄、小売業が 4 銘柄と続いています。時価総額構成比で見ると、「銀行業」の比率が最も大きく、「サービス業」、「その他製品」、「電気機器」と続いています。

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

1995 年、野村證券とラッセル・インベストメントは、資産運用の運用実績を測定するツールとして「Russell/Nomura 日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、浮動株修正時価総額を基準に日本の市場に上場されている普通株式で構成されています。浮動株修正時価総額上位 98%の銘柄で構成される Russell/Nomura Total Market インデックスを中心に、そのサブインデックスを含むシリーズとなっています。

当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回 12 月第一営業日に構成銘柄の定期入替を実施しています。構成銘柄は、10 月 15 日時点の浮動株修正時価総額によって順位付けされます。

定期銘柄入替後、合併・買収やその他の事由によって当インデックスから銘柄が削除される場合においても、次回の定期銘柄入替まで補充されることはありません。従って、各インデックスへの組入れ銘柄数は、年中に変動します。臨時で追加が行われるのは、スピンオフおよび新規上場によって大幅に構成比が低下する場合にかぎります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 47 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 19 兆円※、ラッセル・インデックスをベンチマークに採用している運用商品の資産総額は約 455 兆円※※となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。

日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

(※ 2008 年 9 月 30 日現在 ※※ 2008 年 7 月 1 日現在、グループ合算)

野村證券株式会社について

野村證券株式会社は、野村ホールディングス株式会社を持株会社とする金融サービスグループ「野村グループ」のコア業務である証券業務を担う中核会社です。国内で展開する本支店数は 167 (2008 年 12 月 1 日現在)。野村證券に関するより詳細な情報は <http://www.nomura.co.jp/> をご覧ください。なお、「野村グループ」に関する IR 情報やニュースリリースなどは、野村ホールディングスのサイト <http://www.nomura.com/jp/> にて掲載しております。

お問い合わせ先:

ラッセル・インベストメント

【米国窓口】

Russell Investments

PR 担当: Steve Claiborne

TEL: US, 253-439-1858

E-mail: newsroom@russell.com

【日本窓口】

ラッセル・インベストメント株式会社

マーケティング部

TEL: 03-5411-3790

Email: Tokyo-RIJ@russell.com

野村證券株式会社 金融工学研究センター

インデックス・プロダクツ・グループ

TEL: 03-3274-0924

E-mail: idx_mgr@frc.nomura.co.jp